

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	実習前演習 I (CBT)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対象学年	夜間部3年	学期及び曜時限	前期	教室名	901教室
担当教員	永吉 啓吾				
実務経験と その関連資格	理学療法士として一般病院に勤務。認定理学療法士(学校教育)取得。整形外科クリニック、訪問リハにも従事している。				
《授業科目における学習内容》					
評価実習に行くにあたっての実習前判定試験に対する演習です。理学療法を行う上で基礎となる解剖学・生理学・運動学・評価学を国家試験過去問レベルで解けるようになる。					
《成績評価の方法と基準》					
実習前判定試験(CBT)での点数が60点以上を合格とします。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「クエッションバンク共通2023」(MEDIC MEDIA) 「クエッションバンク専門2023」(MEDIC MEDIA)					
《授業外における学習方法》					
映像授業をムードルに掲載しています。予習・復習に活用して下さい。					
《履修に当たっての留意点》					
①主体的に取り組んで下さい ②実習に行くにあたっての基礎知識です。しっかり身につけましょう。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	運動器(骨折)	配布プリント	特になし	
	各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第2回	授業を通じての到達目標	運動器(神経損傷・骨端症)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第3回	授業を通じての到達目標	運動器(整形外科テスト)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第4回	授業を通じての到達目標	神経内科(高次脳機能障害)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける			
第5回	授業を通じての到達目標	神経内科(脳卒中)	教科書	前回の復習	
	各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 神経内科(神経筋疾患)	教科書	前回の復習
		各コマにおける授業予定 神経内科学の国家試験過去問を解ける		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 神経内科(神経筋疾患・認知症)	配布プリント	前回の復習
		各コマにおける授業予定 神経内科学の国家試験過去問を解ける		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 内科学(膠原病)	配布プリント	特になし
		各コマにおける授業予定 内科学の国家試験過去問を解ける		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 内科学(換気障害)	教科書	前回の復習
		各コマにおける授業予定 内科学の国家試験過去問を解ける		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 内科学(心電図)	教科書	前回の復習
		各コマにおける授業予定 内科学の国家試験過去問を解ける		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 内科学(虚血性心疾患・心不全)	教科書	前回の復習
		各コマにおける授業予定 内科学の国家試験過去問を解ける		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 内科学(消化器)	教科書	前回の復習
		各コマにおける授業予定 内科学の国家試験過去問を解ける		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標 内科学(糖尿病)	教科書	前回の復習
		各コマにおける授業予定 内科学の国家試験過去問を解ける		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標 内科学(内分泌)	配布プリント	前回の復習
		各コマにおける授業予定 内科学の国家試験過去問を解ける		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 まとめ	配布プリント	特になし
		各コマにおける授業予定 まとめ、振り返り		

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	演習
科目名	実習前演習 I (CBT)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対象学年	夜間部3年		学期及び曜時間	前期	教室名	901教室
担当教員	永吉 啓吾	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
評価実習に行くにあたっての実習前判定試験に対する演習です。理学療法を行う上で基礎となる解剖学・生理学・運動学・臨床医学の知識の修得を行います。						
《成績評価の方法と基準》						
9月に行う実習前判定試験(CBT)での点数が60点以上を合格とします。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
「クエッションバンク共通2023」(MEDIC MEDIA) 「クエッションバンク専門2023」(MEDIC MEDIA)						
《授業外における学習方法》						
映像授業を予習・復習に活用して下さい。						
《履修に当たっての留意点》						
①主体的に取り組んで下さい ②実習に行くにあたっての基礎知識です。しっかり身につけましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	運動器(骨折)+E27:NE27:N36	教科書	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	運動器(神経損傷・骨端症)	教科書	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	運動器(整形外科テスト)	教科書	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	運動器の国家試験過去問を解ける			
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	神経内科(高次脳機能障害)	教科書	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける			
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	神経内科(高次脳機能障害)	教科書	前回の復習	
		各コマにおける授業予定	神経内科学の国家試験過去問を解ける			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	配布プリント	前回の復習
		骨関節系解剖生理学まとめ		
第22回	演習形式	各コマに おける 授業予定	教科書	前回の復習
		骨関節系まとめテスト		
第23回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	教科書	前回の復習
		評価学①		
第24回	演習形式	各コマに おける 授業予定	教科書	前回の復習
		評価学の内容を理解する		
第25回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	教科書	前回の復習
		評価学②		
第26回	演習形式	各コマに おける 授業予定	教科書	前回の復習
		評価学の内容を理解する		
第27回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	教科書	前回の復習
		評価学③		
第28回	演習形式	各コマに おける 授業予定	教科書	前回の復習
		評価学の内容を理解する		
第29回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	教科書	前回の復習
		評価学④		
第30回	演習形式	各コマに おける 授業予定	教科書	前回の復習
		評価学の内容を理解する		
第31回	演習形式	授業を 通じての 到達目標	配布プリント	前回の復習
		評価学⑤		
第32回	演習形式	各コマに おける 授業予定	配布プリント	前回の復習
		評価学まとめ		
第33回	演習形式	授業を 通じての 到達目標		
		評価学まとめテスト		
第34回	演習形式	各コマに おける 授業予定		
第35回	演習形式	授業を 通じての 到達目標		
第36回	演習形式	各コマに おける 授業予定		
第37回	演習形式	授業を 通じての 到達目標		
第38回	演習形式	各コマに おける 授業予定		